

Step 1

・「都市部において、」という謎を解明するために筆者が行った実験の内容をまとめよう。

問い 都市部において、外来のセイヨウタンポポが減って、雑種タンポポが増えたのはなぜか。

結論 セイヨウタンポポと雑種タンポポの性質の違いによって、都市部ではセイヨウタンポポよりも雑種タンポポのほうが生き残りやすいといえそう。

実験1

目的 種子がどの温度でどれくらい発芽するのかが調べる。

結果 セイヨウタンポポは温度に関係なく発芽するが、カントウタンポポと雑種タンポポは高い温度では発芽せずに種子のまま過ごし、適温になると発芽する。

種子の発芽のタイミングと芽生えの生き残りやすさに着目

実験2

目的 セイヨウタンポポの芽生えは高温で生き残れるのかを調べる。

結果 高い温度では、雑種タンポポの方がセイヨウタンポポよりも生き残る割合が高い。

仮説 暑さの中で発芽するセイヨウタンポポは枯れやすく、涼しくなってから発芽する雑種タンポポは生き残りやすい。

次の2つの問いに答えよう。

Step 2

① 筆者が実験2を行ったのはなぜか？
一つ目の実験だけでは、十分な立証ができないから。

② 「結論」で、語尾が「〜といえそう」になっているのはなぜか？
この2つの実験で得た結果は、あくまでも筆者の着目した点に限って確からしいと言えるもので、ほかの可能性が残されているかもしれないから。